

斜林ベース併用工

- 斜面苗木固定・育成具「斜林ベース」を用いて地域性在来木本種苗木を斜面に導入して早期樹林化を図り、自然景観と生態系を早期に回復します。



A0ベース併用工

- A0ベース工法によって近隣の森林表土に含まれる埋土種子（シードバンク）を活用して地域性在来種による自然生態系の回復を図る工法です。



自然再生緑化

新技術活用促進システム登録工法 NETIS No. KT-060121

ウツディベース工法

根株・伐採材リサイクル緑化



斜面防災・緑化工協会



事務局 〒310-0903 茨城県水戸市堀町959番地
株式会社 水戸グリーンサービス内
TEL: 029(225)2754 FAX: 029(227)2783



斜面防災・緑化工協会

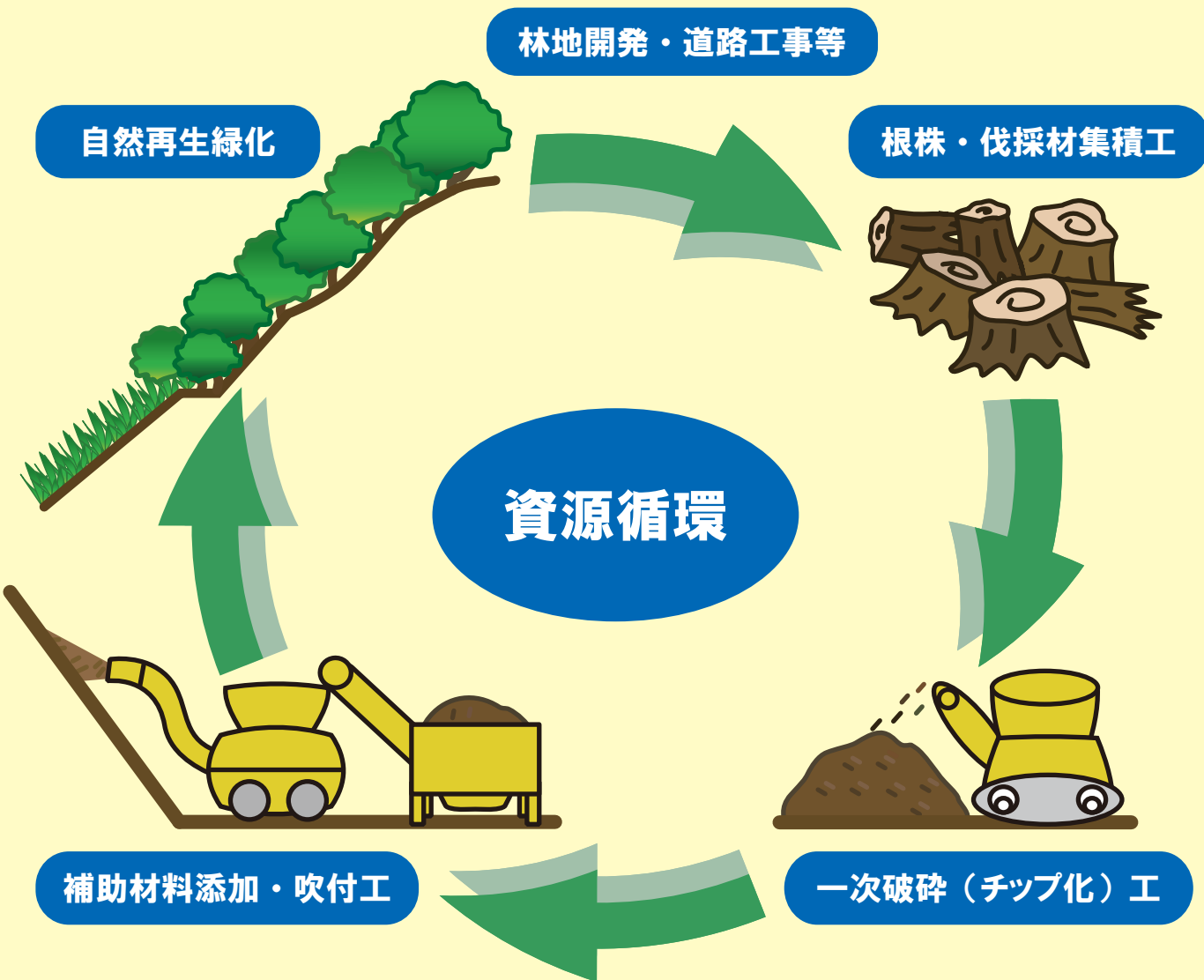
ウッディベース工法の特徴

- 「根株」・「伐採材」等の「植物性発生材」を破碎して「リサイクル緑化基盤材」として有効活用します。
- 現場発生材をそのまま「未分解チップ化」して活用しコスト・工程の縮減が図れます。
- 耐浸食性・耐凍上性に優れた基盤を造成して「超遅速緑化手法」による「自然再生緑化」を実現します。
- 「遅延分解技術」によって「生育障害を回避」して安定した緑化が可能です。

ウッディベース工法によるリサイクル緑化の流れ

ゼロエミッション と バイオマス資源 の有効活用を実現。

その土地の植物性発生材を土壌有機物として、その土地に還元する循環型資源活用を実現します。
超遅速緑化による自然再生緑化を可能にしました。



一次破碎（チップ化）工



補助材料添加・吹付工



吹付施工直後



施工後 12 ヶ月



施工後 16 ヶ月



施工後 24 ヶ月

ウッディベース工法の標準配合 1.0m³ 当たり

名 称	規 格・寸 法	単 位	数 量	摘 要
木質系破碎チップ材	一次破碎 50mm メッシュ	ℓ	1000.0	
分解遅速・保水剤	バイオフィバー	ℓ	400.0	
微生物資材	ダルマセラミック	kg	5.0 ～ 10.0	基盤及び植物材料による
肥料	緩効性及び高度化成肥料	kg	6.0 ～ 11.0	基盤及び植物材料による
接合剤	高分子系	kg	1.0 ～ 4.0	基盤及び施工時期による
植物材料	種子・苗木等	式	1.0	緑化目的・目標による

※ 本配合は改良等のため予告なく変更する場合があります。